

横浜市とベトナムの3都市、5校

“介護人材”で初の覚書

今年度20人受け入れ 学費や家賃補助の支援も

横浜市は7月31日、ベトナムの3都市と大

締結したと発表した。横浜市内では2025

保と養成を推進する。こうした取り組みは

学生らの学費や生活、就労などを支援する。ベトナムの3都市（ホ

今年度は、横浜市で介護を学んで働きたい留学生と、ベトナムの

留学生ルートでは、来日後まずは日本語学校に通い、日本語能力

行方。留学生は学校に通っている間、受け入れ施設で週28時間を上限に

アップ生は来日前にN4を合格している人が対象。ベトナムの学校の

生は合計で約2万8500人おり、多数の希望者がいるという。横浜市

20人程度を想定し、10月以降に来日する。特別養護老人ホームなど

協力し、5校は介護の仕事をする意欲のある学生らを横浜市に推薦

留学生在ルートの難度が高い）の合格を目指す。横浜市と受け入れ施設が学費を半額（上

また、昨年9月に在留資格に「介護」が追加されたことにより、

どちらのルートも家賃の半額（上限月3万円）を補助したり、日

横浜市は次年度以降、技能実習生の受け入れや、中国、インド

今年度は、横浜市で介護を学んで働きたい留学生と、ベトナムの学校の学業の一環として

留学生在ルートの難度が高い）の合格を目指す。横浜市と受け入れ施設が学費を半額（上

留学生在ルートの難度が高い）の合格を目指す。横浜市と受け入れ施設が学費を半額（上

一方、インターンシ

ベトナムの5校の学

（榎戸新）

留学生在ルートの難度が高い）の合格を目指す。横浜市と受け入れ施設が学費を半額（上

留学生在ルートの難度が高い）の合格を目指す。横浜市と受け入れ施設が学費を半額（上

留学生在ルートの難度が高い）の合格を目指す。横浜市と受け入れ施設が学費を半額（上